



広島県議会議員

くりはら俊二

県議会公明党ニュース

発行：公明党広島県議会議員団 担当者：栗原俊二

住所：広島市中区基町10-52 連絡先：☎082-513-4660 ✉s-kurihara@gikai.pref.hiroshima.jp



2015年 夏号

<皆さまのご意見ご要望をお聞かせください。>

県議会公明党の新体制決まる

会派代表者(団長)に栗原俊二氏が就任

4月に行われた県議会議員選挙を経て、県議会公明党は新たな陣容でスタートしました。

会派名は従来通り「公明党広島県議会議員団」です。

新たな体制は以下の通りです。



新体制の公明党広島県議団(本会議場にて)
左から栗原、日下、田川、尾熊、下西、石津各議員

議員名	期	選挙区	会派役職	常任委員会
栗原俊二	4	広島市安佐南区	団長	建設委員会
田川寿一	4	広島市西区		文教委員会
日下美香	4	広島市中区	幹事長	生活福祉保健委員会
尾熊良一	2	福山市	政調会長	農林水産委員会
下西幸雄	1	呉市		総務委員会
石津正啓	1	福山市		警察・商工労働委員会

5月13日、14日に広島県議会臨時会が開かれ、第64代議長に平田修己議員、副議長に佐々木弘司議員が選出されました。農林水産委員長には尾熊良一議員(公明党)が選任されました。また議会運営委員会には公明党から日下美香議員、広報委員会には石津正啓議員が選任されました。



広島土砂災害からの 早期復旧などを

国土交通大臣に 要請

6月12日

中山大臣秘書官(左から4人目)に要望書を手渡す公明党議員団と
斉藤鉄夫衆院議員(右端)

広島土砂災害からの1日も早い復旧めざし、直轄事業の着実な実施と予算の確保など、災害に強いまちづくりの推進への支援を求めました。あいにく日程が調整できず太田国土交通大臣に直接手渡すことはできませんでしたが、中山大臣秘書官に懇切丁寧に聞いていただきました。

そのほかにも広島空港の利用者復活に向けた空港整備の促進やナショナルサイクリングロード(仮称)制度の創設などを要望いたしました。



来年サミット時に世界の指導者を被爆地に——知事に要望書を提出 ●6月9日

栗原俊二議員は公明党議員団とともに、湯崎英彦広島県知事宛てに、「『世界の指導者による被爆地訪問』実現に関する要望書」を手渡し、①「核兵器の非人道性に関する国際会議」の広島開催、②来年、日本で開かれるサミットに参加する世界の指導者の広島訪問、③サミットの関係閣僚会議の広島開催の3項目を国に強く働き掛けるよう求めました。

湯崎知事はこの申し入れに即座に対応。6月18日に広島市長、広島商工会議所会頭とともに外務省に岸田外務大臣を訪ね、サミットでの外相会合の広島開催を要請しました。

6月26日、政府は伊勢志摩サミットの外相会合を広島市で開催すると正式に表明しました。



被災地の復興加速へ全力——被災住民が抱える課題や要望解決に奔走 ●6月4日 ●5月22日

「一日も早く防災対策を進めてほしい」「梅雨に入り、雨が降ると不安になる」。住民の皆さんの切実な声です。広島市は地下に雨水を処理する水路を備えた新たな広域避難道路を整備することを決めましたが、住居の立ち退きを求められるなど不安が募ります。「工事計画が不明確で転居先を探せないという声が上がっている」との声も。また地盤崩落などの二次災害が懸念されています。



このほか、被災者からは「市、県、国の相談窓口を一元化してほしい」「災害時に避難所となる集会所の整備費用を補助してもらいたい」「大雨の際、砂防ダムの工事用道路に水が

あふれる恐れがあり心配」「義援金の使途を細かく公表してほしい」などの声が上がりました。地域によって課題が異なることを現地で話を聞いて実感します。これからも被災者に寄り添いながら、復興加速へ全力を挙げてまいります。



ネパール地震救援へ 真心の募金呼び掛け ●5月2日

栗原俊二議員は、「被災者救援・広島県民の会」（鶴見和夫代表）が広島金座街入口で行った街頭募金活動に参加し、真心の募金を呼び掛けました。「被災者に真心のご支援をお願いします」との訴えに、多くの人が足を止め、快く募金に応じてくださいました。

災害時の難病患者を支援 適切な対応へ手帳を作製 ●5月19日



広島県はこのほど、難病患者らが地震や土砂災害などで避難したときに備え、必要な支援を周囲に的確に伝えるための「災害時支援手帳」を作製しました。作製を推進してきた公明党県議団は県庁内で広島難病団体連絡協議会の後藤淳子会長と会い、手帳の完成を喜び合いました。

県は手帳を2万部作り、難病団体や市町などを通じて配布します。

住民目線の防災対策を 土砂災害被災者が県に要望 ●5月1日



昨年8月に広島市北部で発生した土砂災害の被災者や有識者らでつくる「防災を考える会ひろしま」（原田照美会長）が広島県庁を訪れ、広島県の防災対策強化を求める要望書を手渡しました。栗原俊二議員がこれに同席しました。

同会は昨年10月に発足以来、自主防災のあり方など住民目線の防災対策について協議を重ねてきました。